



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月2日

上場会社名 ミツ星ベルト株式会社
 コード番号 5192 URL <http://www.mitsuboshi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月5日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 垣内 一
 (氏名) 増田 健吉

TEL 078-685-5630

上場取引所 東大

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	13,028	7.2	1,578	29.8	1,614	65.7	1,133	67.4
23年3月期第1四半期	12,158	21.8	1,215	—	974	—	677	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,322百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 105百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	16.95	—
23年3月期第1四半期	9.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	66,331	38,543	58.1
23年3月期	67,151	37,621	56.0

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 38,543百万円 23年3月期 37,621百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,000	3.0	2,300	△9.7	2,100	△0.2	1,500	17.5	22.43
通期	52,000	2.1	4,600	△5.6	4,300	△1.0	3,000	△10.8	44.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する情報」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	74,208,397 株	23年3月期	74,208,397 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	7,336,387 株	23年3月期	7,336,072 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	66,872,143 株	23年3月期1Q	71,541,518 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災がもたらした供給ショックと家計や企業心理の急速な落ち込みから、年初来の景気改善の動きが大きく後退しました。しかし、後半にはサプライチェーンの修復の進展によって生産と輸出が持ち直し、景気は回復過程を迎えつつあると見られています。

このような環境のもと、当社グループはアジア圏を中心とした成長市場における販売活動を強化するとともに生産体制の再構築を推進し、経営の効率化と一層のコスト削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、自動車生産台数の落ち込みによって国内では自動車用ベルトの売上が減少しましたが、アジア圏を中心とした海外需要が旺盛であったことから、売上高・利益ともに改善され、売上高130億28百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益15億78百万円（前年同期比29.8%増）、経常利益16億14百万円（前年同期比65.7%増）、四半期純利益は11億33百万円（前年同期比67.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[国内ベルト事業]

自動車用ベルトは、震災による自動車生産台数の落ち込みに伴い、新車組み込みライン用は減少しましたが、補修用は前年同期並みの売上を確保することができました。一方、一般産業用ベルト及びOA機器用ベルトは、新興国の需要拡大によって伸長しました。また、運搬ベルトは堅調に推移し、合成樹脂素材は情報関連機器などの需要により増加しました。

その結果、当事業の売上高は62億60百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は16億54百万円（前年同期比11.7%増）となりました。

[海外ベルト事業]

アジアでは、需要の高まりに対応すべく生産体制・販売体制を強化した結果、一般産業用ベルトを中心に大幅に売上を伸ばしました。また、欧米でも堅調に推移しました。

全体では、前年同期と比べ現地通貨で約20%の増加となりましたが、邦貨では円高による為替換算の影響を受けたため、11.4%の増加にとどまりました。

その結果、当事業の売上高は49億72百万円（前年同期比11.4%増）、営業利益は5億29百万円（前年同期比56.3%増）となりました。

[建設資材事業]

建築部門は公共投資の抑制に震災の影響も加わり低調でありましたが、土木部門の受注が寄与し、全体では増加しました。

その結果、当事業の売上高は8億59百万円（前年同期比8.9%増）、営業損失は12百万円（前年同期は営業損失5百万円）となりました。

[その他]

その他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、金属ナノ粒子などの新製品、仕入商品等が含まれており、売上高は増加となりました。

その結果、その他の売上高は9億35百万円（前年同期比4.3%増）、営業損失は8百万円（前年同期は営業損失1億20百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末は、現金及び預金を中心に流動資産が2億92百万円減少したほか、有形固定資産が4億9百万円、投資その他の資産が1億20百万円といずれも減少し、総資産は前連結会計年度末比8億20百万円減少の663億31百万円となりました。

また、負債も流動負債が9億54百万円、固定負債が7億88百万円とそれぞれ減少し、負債合計は前連結会計年度末比17億42百万円減少の277億87百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が7億32百万円増加したこと等により、前連結会計年度末比9億22百万円増加の385億43百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の56.0%から58.1%に上昇しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

国内景気は、年後半にかけて輸出の拡大と国内消費の回復で徐々に持ち直すと見られていますが、一方で原油高や電力供給不安、米国をはじめとする世界景気の変調と為替の円高進行などの不安定要因により、第2四半期以降の景気動向には依然不透明感があることから、業績予想は据え置きます。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

[税金費用の計算]

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,971	13,309
受取手形及び売掛金	11,868	11,871
商品及び製品	7,427	7,528
仕掛品	1,150	1,388
原材料及び貯蔵品	1,737	1,506
その他	1,165	1,410
貸倒引当金	△163	△148
流動資産合計	37,158	36,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,694	7,606
機械装置及び運搬具（純額）	7,962	7,760
工具、器具及び備品（純額）	1,527	1,558
土地	4,152	4,162
建設仮勘定	781	622
有形固定資産合計	22,118	21,709
無形固定資産	70	69
投資その他の資産		
投資有価証券	7,537	7,419
その他	348	347
貸倒引当金	△81	△81
投資その他の資産合計	7,804	7,684
固定資産合計	29,993	29,464
資産合計	67,151	66,331

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,638	5,974
短期借入金	6,479	7,096
未払法人税等	883	582
賞与引当金	394	882
その他	3,637	3,542
流動負債合計	19,032	18,078
固定負債		
長期借入金	7,069	6,663
退職給付引当金	286	278
役員退職慰労引当金	18	19
その他	3,123	2,748
固定負債合計	10,497	9,709
負債合計	29,529	27,787
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	7,130	7,130
利益剰余金	26,778	27,510
自己株式	△4,034	△4,034
株主資本合計	38,024	38,756
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,196	3,103
為替換算調整勘定	△3,598	△3,316
その他の包括利益累計額合計	△402	△212
純資産合計	37,621	38,543
負債純資産合計	67,151	66,331

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	12,158	13,028
売上原価	8,301	8,784
売上総利益	3,856	4,243
販売費及び一般管理費	2,641	2,665
営業利益	1,215	1,578
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	132	91
その他	96	114
営業外収益合計	232	211
営業外費用		
支払利息	61	48
デリバティブ評価損	27	—
為替差損	198	54
その他	186	71
営業外費用合計	473	174
経常利益	974	1,614
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	78	—
特別損失合計	78	—
税金等調整前四半期純利益	895	1,614
法人税等	218	481
少数株主損益調整前四半期純利益	677	1,133
四半期純利益	677	1,133

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	677	1,133
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△747	△92
為替換算調整勘定	175	282
その他の包括利益合計	△572	189
四半期包括利益	105	1,322
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105	1,322
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,006	4,465	789	11,261	897	12,158	—	12,158
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,481	338	—	1,820	396	2,216	△2,216	—
計	7,488	4,803	789	13,081	1,293	14,375	△2,216	12,158
セグメント利益又は損失(△)	1,481	338	△5	1,814	△120	1,694	△478	1,215

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△478百万円には、セグメント間取引消去164百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△643百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,260	4,972	859	12,092	935	13,028	—	13,028
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,708	516	—	2,225	413	2,638	△2,638	—
計	7,969	5,489	859	14,318	1,348	15,667	△2,638	13,028
セグメント利益又は損失(△)	1,654	529	△12	2,171	△8	2,162	△584	1,578

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△584百万円には、セグメント間取引消去38百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△623百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。